

須賀川の初冬の風物詩

# 牡丹焚火

令和6年

11/16 (土)

午後4時30分

須賀川牡丹園

主催:須賀川市・桔槔吟社・(公財)須賀川牡丹園保勝会

後援:須賀川市観光物産振興協会 協力:須賀川茶道連合会

## 牡丹焚火講演会

◆聴講無料  
◆事前申込要

とき 午後2時 受付開始：午後1時30分

ところ 牡丹会館 多目的ホール

たかだまさこ

講師 高田正子先生

演題「青邨の黒牡丹、杏子の白牡丹」

聴講をご希望の方は、事前申し込みが必要となります。

事前申込 令和6年10月18日(金)～(定員60名)※先着順  
須賀川市風流のはじめ館へお電話ください。

## 牡丹焚火

◆参加無料  
◆事前申込不要

とき 火入れ式 午後4時30分

ところ 中央広場 大ケヤキ前

天寿を全うした牡丹の古木や折れた木を  
供養する行事です。

牡丹の古木や枯れ枝をお持ちの方は、是非  
ご持参ください。

その他 午後4時から牡丹焚火会場にて牡丹炭(軟炭)  
をプレゼントします。(先着50名様)

## 桔槔吟社 牡丹焚火俳句大会

「牡丹焚火」またはその傍題を季語とした俳句  
を投句ください。投句者には作品集を送  
付、優秀作品には賞品を贈呈します。

投句料 2句1組1人1,000円 (1人2句まで投句可)  
※投句料と引き換えに投句用紙をお配りします。

当日投句：午後6時10分まで  
郵送投句：11月19日(火)まで(当日消印有効)

詳しくは、須賀川市文化振興課または市公式HPへ。

## 須賀川茶道連合会 呈茶サービス

料金は頂きません。  
温かいお茶とお菓子をどうぞお召し上  
がりください。

とき 午後1時00分～午後4時00分(予定)  
※お菓子が無くなり次第終了となります。

ところ 牡丹会館 売店前

〽 令和五年度牡丹焚火俳句大会 最高得点句 〽  
牡丹焚火椅子の雨粒拭いて座す 渡辺クニ子(須賀川)  
一服の呈茶も牡丹供養かな 平手ふじえ(宇都宮)



「牡丹焚火」は初冬の季語になっています

牡丹焚火は、毎年十一月第三土曜日の薄暮から宵にかけて国指定名勝「須賀川の牡丹園」で行われます。大正時代に、園主柳沼源太郎が古木を供養するためにひっそりと焚いていたことが始まりです。夕闇の中にかすかな香りを漂わせながら燃え上がる青紫色の焰は、牡丹の精を思わせ、余情的な零囲気を醸し出します。また、平成十三年には、環境省の「かおり風景一〇〇選」に選定されました。

須賀川市公式HP



桔槔吟社HP



須賀川牡丹園HP

